

## 取扱説明書

対応品番	PRIZM II	PRIZM II LE
	•GP22○	•GPL22S○
	•GP22B○	•GPL22E○
	•GP22E○	•GPL22BE○
	•GP22BE○	

●お客様へ  
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。  
お読みになった後は、必ずお使いになる方がいつでも読めるところに保管してください。

同梱品に付属している取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。  
お読みになった後は、必ずお使いになる方がいつでも読めるところに保管してください。

●工事店様へ  
施工後、この説明書と付属品の説明書をお客様へお渡しください。

### 用語および記号の説明

- 警告** …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が予想されます。」
- 注意** …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が予想されます。」
- ⚠ …… 「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意を促す記号です。必ずお読みになり記載事項を守ってください。）
- ⊘ …… 「してはいけません！」（一般的な注意記号です。）
- 🔪 …… 「分解してはいけません！」
- 🚫 …… 「指示した場所に触れてはいけません！」
- 👉 …… 「指示通りにしてください！」（一般的な行動指示記号です。）

### ご使用について ご使用に関する安全上の注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

#### 警告

- 製品の仕様が無いものの取付け、植栽や他の構造物の支え、踏み台、遊具など目的以外の使用はしない。  
製品の想定以外の負荷が加わり、曲がりや転倒などの原因となります。
  - 本説明書に無い追加加工、改造はしない。  
強度低下による曲がりや転倒、追加加工部分からの腐食による寿命の低下の原因となります。
  - 照明部は樹脂製ですので、強い衝撃が加わると破損するおそれがあります。
  - 小さいお子様だけのご使用は、避けてください。  
やけど・けがをするおそれがあります。
- 製品の組立・施工は必ず「取扱説明書」と「施工説明書」を読み、正確に行ってください。
- 万一、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し工事店に修理を依頼してください。

#### 注意

- 使い始めの水がお湯の場合は、しばらく流してからお使いください。  
しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。
- 製品に強い力や衝撃を与えないでください。  
故障や漏水の原因となります。
- 解氷機やアースを水栓に通電しないでください。  
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損失発生のおそれがあります。
- 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。  
器具が破損し、やけど、けがをしたり、水漏れで家財を濡らす財産損失発生のおそれがあります。
- 夏季や日中（昼間）には本体が高温になる場合があります。  
金属の表面に直接肌を触れないようにしてください。  
やけどをするおそれがあります。

### ご使用について 凍結予防

#### 警告

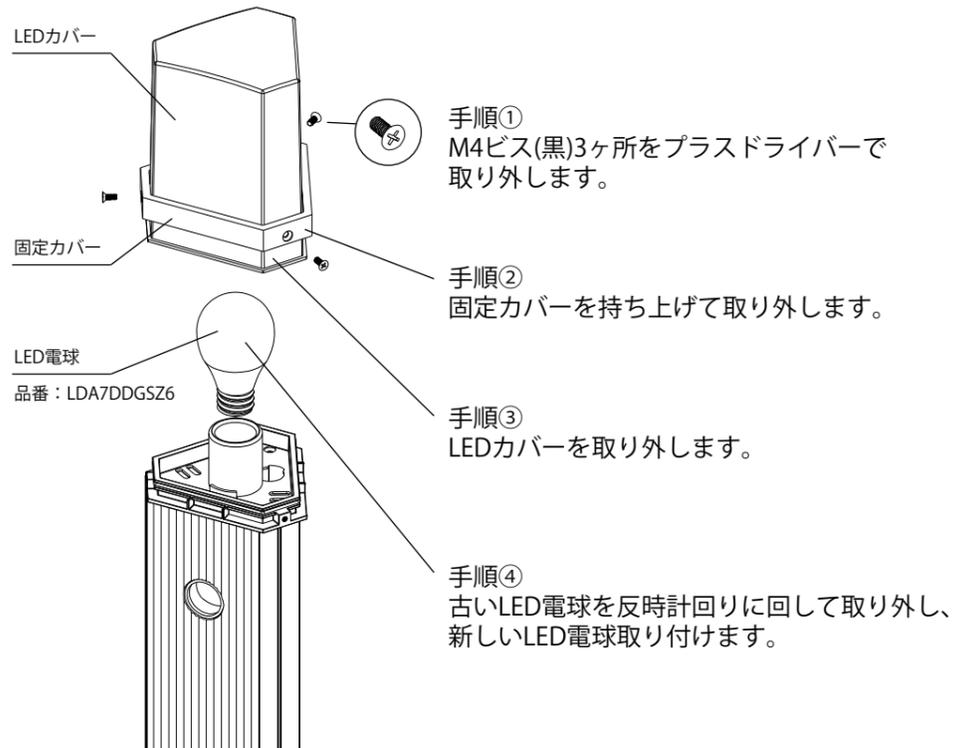
- 凍結が予想される地域では、必ず水抜き栓を設置してください。**  
※凍結による破損で水漏れが発生する場合があります。
- 水抜き栓を設置していない現場で、凍結のおそれがある場合は、水栓より少量の水を出してください。  
※水を流し続けることで、凍結を予防できる場合があります。（目安として1分間に牛乳ビン1本程度）
- ※凍結による破損は、お取付けの地域にかかわらず、保証期間内でも有料交換になります。  
一度でも凍結すると破損し水漏れが発生するため、確実に凍結予防策を講じてください。

### こんなときは LED電球の交換 ※PRIZM IIのみ

LED電球の標準寿命は4年以上ですが、万一点灯しないなどの故障が発生した場合は、下記の点に注意して交換してください。（交換用LED電球 品番:LDA7DDGSZ6）

#### 注意

- 取付け・取外し・清掃のときは、必ず電源を切ってから作業を行ってください。（感電の原因）
- 電源を入れた状態や電源を切った後しばらくの間は電球が熱いので触れないでください。
- 電球はソケットに確実に取り付けてください。
- ネジは当社純正品を規定本数確実に締付けてください。



### こんなときは 故障？その前に

現象	点検項目	処置
流量が少ない	止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	ゴミづまりはありませんか。	蛇口内部のゴミかみがあれば取り除き、傷があれば交換する。
水はねが気になる		ハンドルで流量を調節する。

以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

### 日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

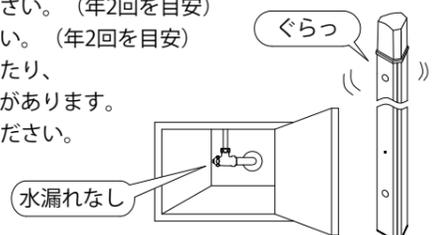
- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

#### 注意

- 次のものは使用しないでください。変色や傷みのおそれがあります。  
● 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類  
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。  
● ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類  
● クレンザーなどの粒子の粗い洗剤 ● ナイロンたわしなど
- 洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。  
本体の割れや変色変質の原因となります。

### 定期的な点検 配管まわりの漏れ・器具のがたつき

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。（年2回を目安）  
定期的に、器具のがたつきがないか確認してください。（年2回を目安）  
劣化・磨耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。  
水漏れを確認した場合は、配管中の元栓を閉めてください。



## 施工説明書

対応品番	
PRIZM II	PRIZM II LE
・GP22○	・GPL22S○
・GP22B○	・GPL22E○
・GP22E○	・GPL22BE○
・GP22BE○	

●お客様へ  
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。  
お読みになった後は、必ずお使いになる方がいつでも読めるところに保管してください。

同梱品の説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。  
お読みになった後は、必ずお使いになる方がいつでも読めるところに保管してください。

●工事店様へ  
施工後、この説明書と付属品の説明書をお客様へお渡しください。

### 用語および記号の説明

- 警告** …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が予想されます。」
- 注意** …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が予想されます。」
- ⚠ …… 「注意しなさい！」(上記の「注意」と併用して注意を促す記号です。必ずお読みになり記載事項を守ってください。)
- 🚫 …… 「してはいけません！」(一般的な注意記号です。)
- 🔧 …… 「分解してはいけません！」
- 🚫 …… 「指示した場所に触れてはいけません！」
- 🗨️ …… 「指示通りにしてください！」(一般的な行動指示記号です。)

### 施工について 施工に関する安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

#### ⚠ 警告

- 表示された電源電圧・周波数でご使用ください。指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因になります。
- 電気工事は「電気工事士」の資格がある方が、「電気設備の技術基準」及び「内線規程」に基づき、水道工事は指定の工事店が「水道法施行令」に基づき行ってください。
- EV・PHEV充電要として用いる場合は、必ず専用回路とし、漏電ブレーカーを設置してください。
- 凍結が予想される地域では、必ず凍結防止策を講じてください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。水抜き栓の設置が一般的です。

#### ⚠ 注意

- 配管の埋設深さは、各自治体ごとに決まり(凍結深度)があります。凍結深度が100mmより深い場合は、自治体の指示に従ってください。凍結深度に満たない場合、凍結破損による水漏れなどのおそれがあります。
- 前もって設置場所の確認を行ってください。給湯機・暖房機などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。
- 本体は必ず垂直に施工してください。

- 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 同梱の部品以外は使用しないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 調光器と組み合わせて使用しないでください。
- 水の溜まる場所に施工しないでください。
- 防雨型器具です。浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。絶縁不良による感電・火災の原因になります。
- 本体の対風速は60m/sです。建物の屋上、山稜、橋梁及び沿岸部等では使用しないでください。器具落下・転倒の原因となります。
- 塩分を含む砂(海砂)を用いたコンクリート(またはモルタル)を使用しないでください。また、大気中や地質に強い酸・アルカリ成分が含まれる場所では使用しないでください。本体が腐食し、破損・倒壊する恐れがあります。

- 修理技術者以外の方は、水栓内部の分解をしないでください。故障や水漏れの原因になります。

### 施工について 適切な使用条件

[水圧について]

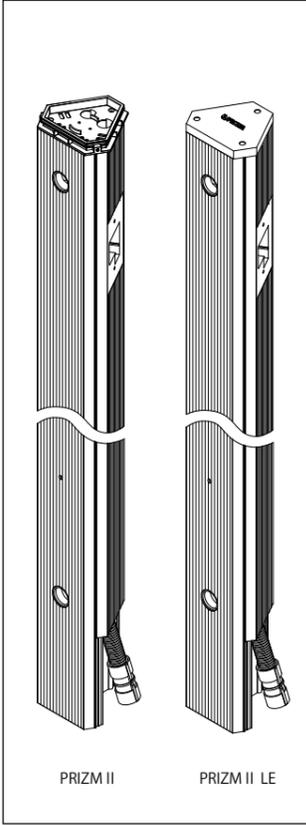
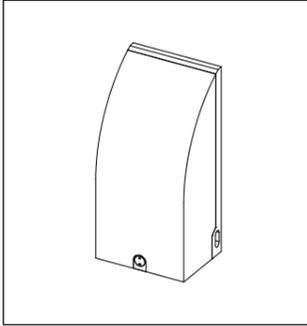
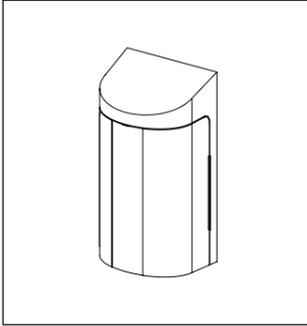
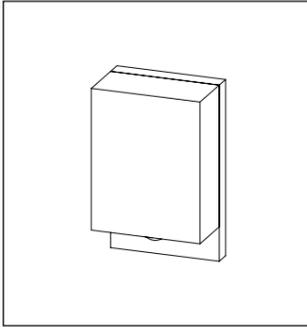
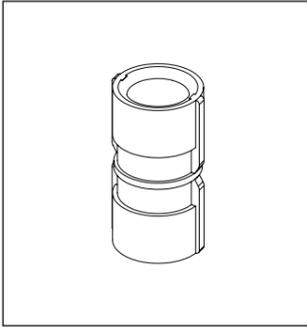
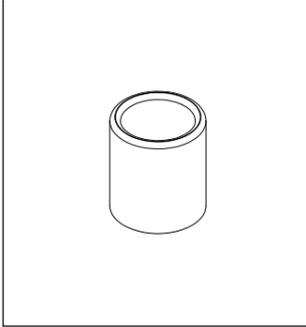
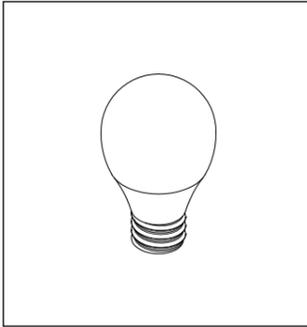
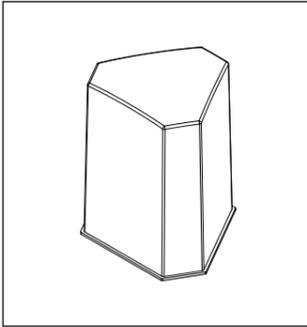
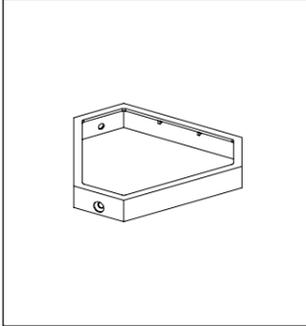
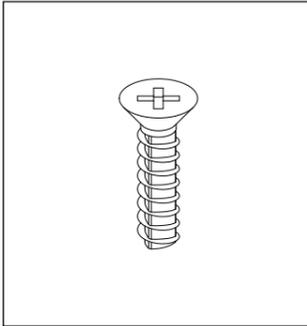
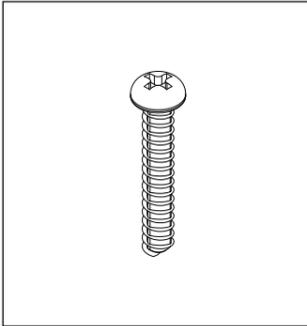
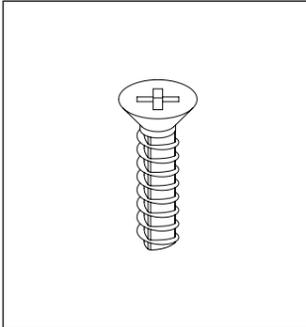
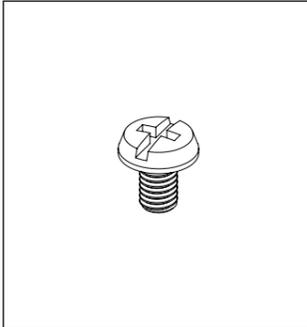
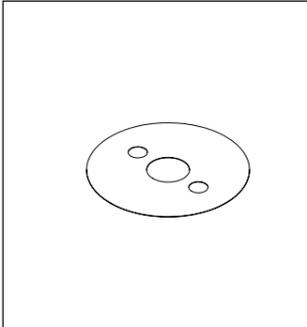
給水圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用圧力(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

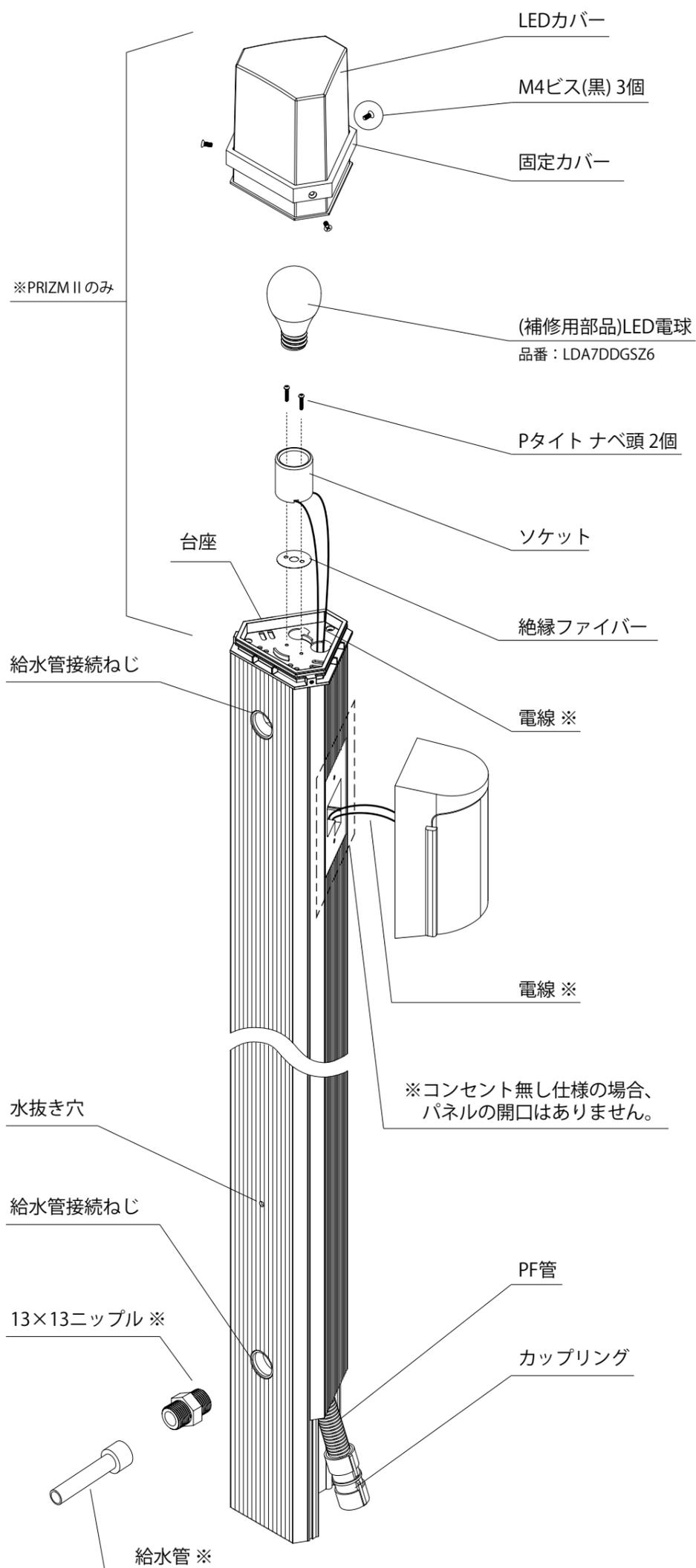
給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧してください。

[水質・用途について]

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用

### 本製品について セット内容及び各部の名称

<p>水栓柱本体 ×1</p>  <p>PRIZM II PRIZM II LE</p>	<p>100Vコンセント ×1 ※</p>  <p>※ GP22B○、GP22BE○、GPL22B○、GPL22BE○のみ</p>	<p>200Vコンセント ×1 ※</p>  <p>※ GP22E○、GP22BE○、GPL22E○、GPL22BE○のみ</p>
	<p>熱線センサー ×1 ※</p>  <p>※ PRIZM II へのみ付属 (GP22○、GP22B○、GP22E○、GP22BE○)</p>	<p>カップリング ※</p>  <p>※ GP22○、GP22B○、GP22E○、GPL22B○、GPL22E○ ×1 GP22BE○、GPL22BE○ ×2</p>
<p>ソケット ×1 ※</p>  <p>※ PRIZM II へのみ付属 (GP22○、GP22B○、GP22E○、GP22BE○)</p>	<p>LED電球 ×1 ※</p>  <p>※ PRIZM II へのみ付属 (GP22○、GP22B○、GP22E○、GP22BE○)</p>	<p>LEDカバー ×1 ※</p>  <p>※ PRIZM II へのみ付属 (GP22○、GP22B○、GP22E○、GP22BE○)</p>
<p>固定カバー ×1 ※</p>  <p>※ PRIZM II へのみ付属 (GP22○、GP22B○、GP22E○、GP22BE○)</p>	<p>M4ビス(黒) ×3 ※</p>  <p>※ PRIZM II へのみ付属 (GP22○、GP22B○、GP22E○、GP22BE○)</p>	<p>Pタイト ナベ頭 ×2 ※</p>  <p>※ PRIZM II へのみ付属 (GP22○、GP22B○、GP22E○、GP22BE○)</p>
<p>Pタイト 皿頭 ※</p>  <p>※ GP22B○、GP22E○、GPL22B○、GPL22E○ ×2 GP22BE○、GPL22BE○ ×4</p>	<p>ソケット用ビス ×2 ※</p>  <p>※ PRIZM II へのみ付属 (GP22○、GP22B○、GP22E○、GP22BE○)</p>	<p>絶縁ファイバー ×1 ※</p>  <p>※ PRIZM II へのみ付属 (GP22○、GP22B○、GP22E○、GP22BE○)</p>



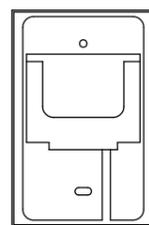
- PRIZM II 全長: 1,480mm
- PRIZM II LE 全長: 1,225mm

※下記を参考に必要な部材を別途手配してください。

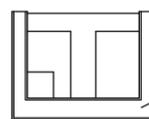
- コンセント配線用電線:  $\phi 1.6 \sim \phi 2$  Cu単線
- ニップル: 13×13ニップル
- シールテープ
- 給水管: HI-VP仕様
- PF管: 呼び19

【100V・200Vコンセント】

- ・コンセント本体からパッキンを取り外してください。
- ・下記を参考にニッパーなどでパッキンを切り離してください。  
パッキンを再度コンセント本体にはめ込んでください。

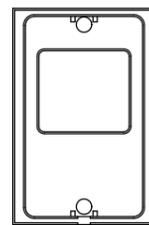


ニッパーなどで切り離す

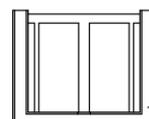


こちら側は使用しません。

100Vコンセント用パッキン



ニッパーなどで切り離す



こちら側は使用しません。

200Vコンセント用パッキン

- ・コンセントに同梱してある施工説明書を参考に、  
電線(現場手配)を接続した後、「Pタイト 皿頭」を2個使って水柱柱に固定してください。  
(締め付けトルク: 0.62~1.97N・m)



Pタイト 皿頭

【ソケット】 ※PRIZM II のみ

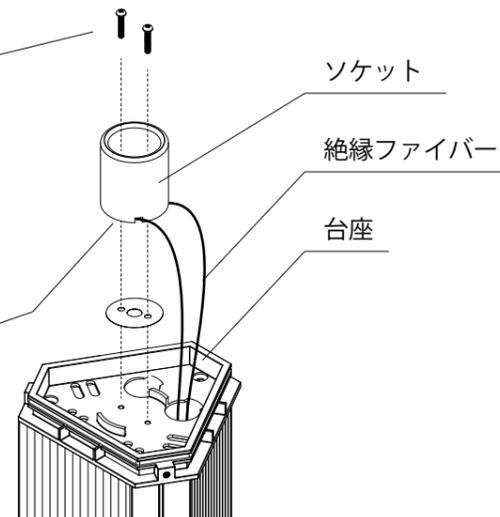
- ・付属のソケット用ビスを使って電線(現場手配)を接続した後、「Pタイト ナベ頭」を2個使って台座に固定してください。(締め付けトルク: 0.29~0.98N・m)



Pタイト ナベ頭

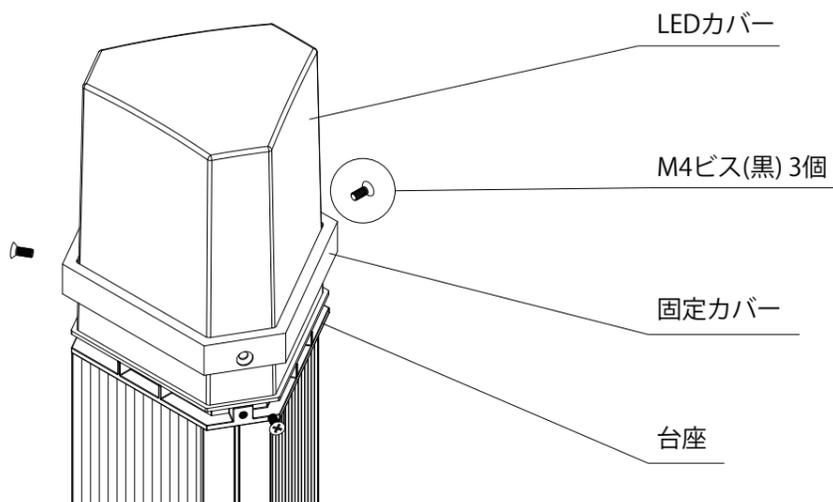


ソケット用 ビス ×2



【LEDカバー】 ※PRIZM II のみ

- ・台座の上に「LEDカバー」を乗せた後、上から「固定カバー」を通し、  
「ビス(黒)」を3個使って台座に固定してください。



# 施工手順書(別添) ～水道工事が先となる場合～

＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ 電気工事 ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝

## ①埋設穴を確保

設置場所にモルタル、クラッシャーラン、給水管、PF管配管工事を考慮したスペースを確保し、穴を掘る。 ※埋め込み深さは300mm程度

## ②クラッシャーランの敷設

水栓柱の設置位置に合わせ、水はけ用の深さ100mm程度のクラッシャーランを敷く。(図1参照)

## ③水栓柱の据付け

水栓柱を埋設穴のクラッシャーランの上に立て、添え木等により仮固定し、垂直・水平の寸法調整する。

## ④給水管の配管

給水管を適切な深さで地中配管し、水栓柱下部に13×13ニップルを用いて接続する。

## ⑤水道管側のモルタルの打設

水栓柱の下端のカップリングにPF管(現場調達品)を接続して延長し、水道管バルブソケットと水抜き穴を埋めないように注意し、モルタルを打設する。  
PF管の管端を袋などで覆い、埋まらないように地面(GL)から出しておく。

## ⑥埋設穴の処理

埋設穴に誤って人が落ちないように適切な処理を施す。

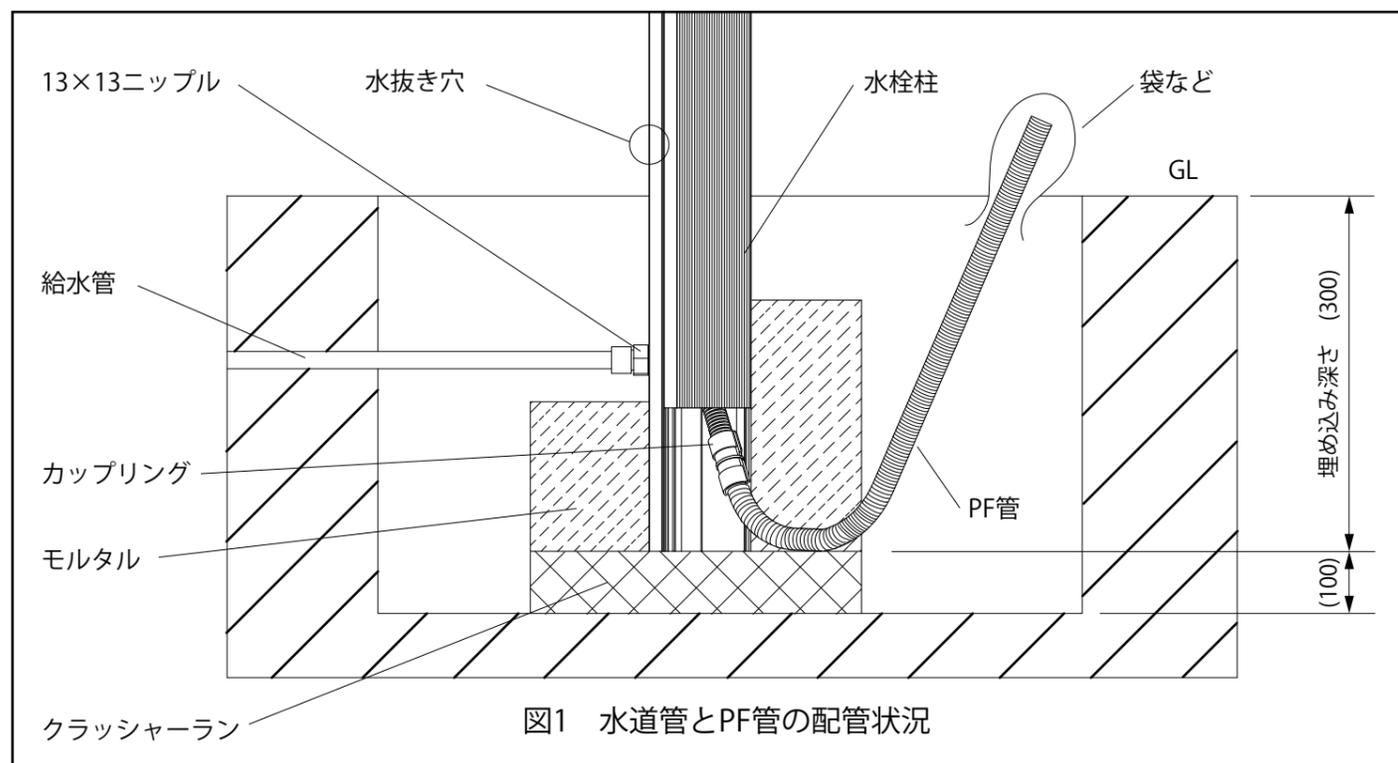


図1 水道管とPF管の配管状況

## ⑦PF管の配管

PF管を適切な深さで地中配管し、水栓柱のカップリングを用いて接続する。  
※PF管の配管は、電線の通電に配慮して曲げ半径は管の直径の6倍(R200mm以上推奨)以上とする。

## ⑧センサーの取付け

付属のセンサーを反応範囲に注意し、安定した壁面に設置する。

## ⑨埋戻し

水抜き穴を塞がないようにPF管及び水道管を埋込みライン(水栓柱最下部より300mm)まで水栓柱を埋戻す。(図2参照) ※コンクリート埋設の場合、コンクリートが乾くまで十分養生する。

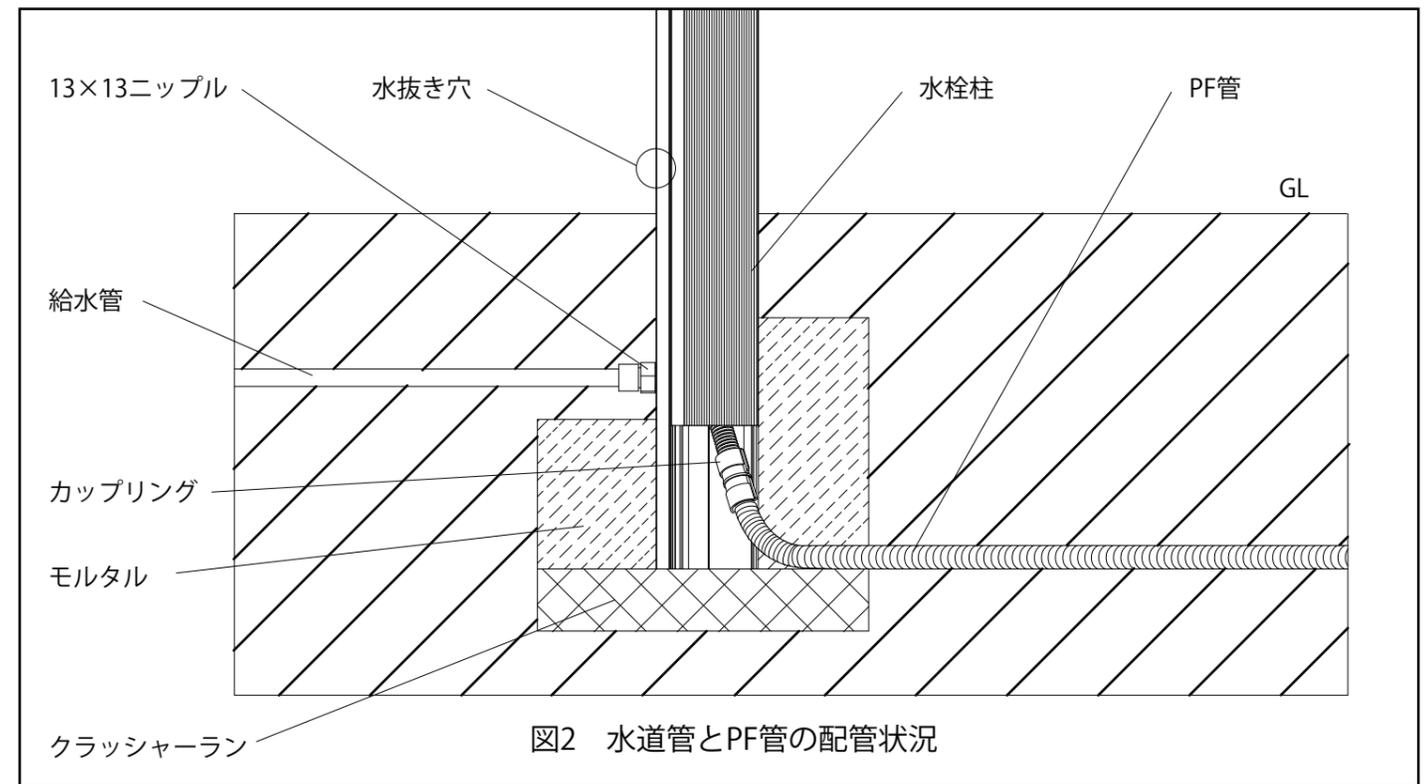


図2 水道管とPF管の配管状況

## ⑩通水点検

蛇口の施工後に、水が流れるか、止水できているかどうかを点検する。  
このとき確実にフラッシングを行う。  
フラッシング：蛇口を全開し約30～60秒間勢いよく通水する。

フラッシングを行った後は、蛇口止水部のゴミをピンセット等で丁寧に取り除く。

# 施工手順書(別添) ～電気工事が先となる場合～

## ①埋設穴を確保

設置場所にモルタル、クラッシャーラン、水道配管、PF管配管工事を考慮したスペースを確保し、穴を掘る。 ※埋め込み深さは300mm程度

## ②クラッシャーランの敷設

水栓柱の設置位置に合わせ、水はけ用の深さ100mm程度のクラッシャーランを敷く。(図1参照)

## ③水栓柱の据付け

水栓柱を埋設穴のクラッシャーランの上に立て、添え木等により仮固定し、垂直・水平の寸法調整する。

## ④PF管の配管

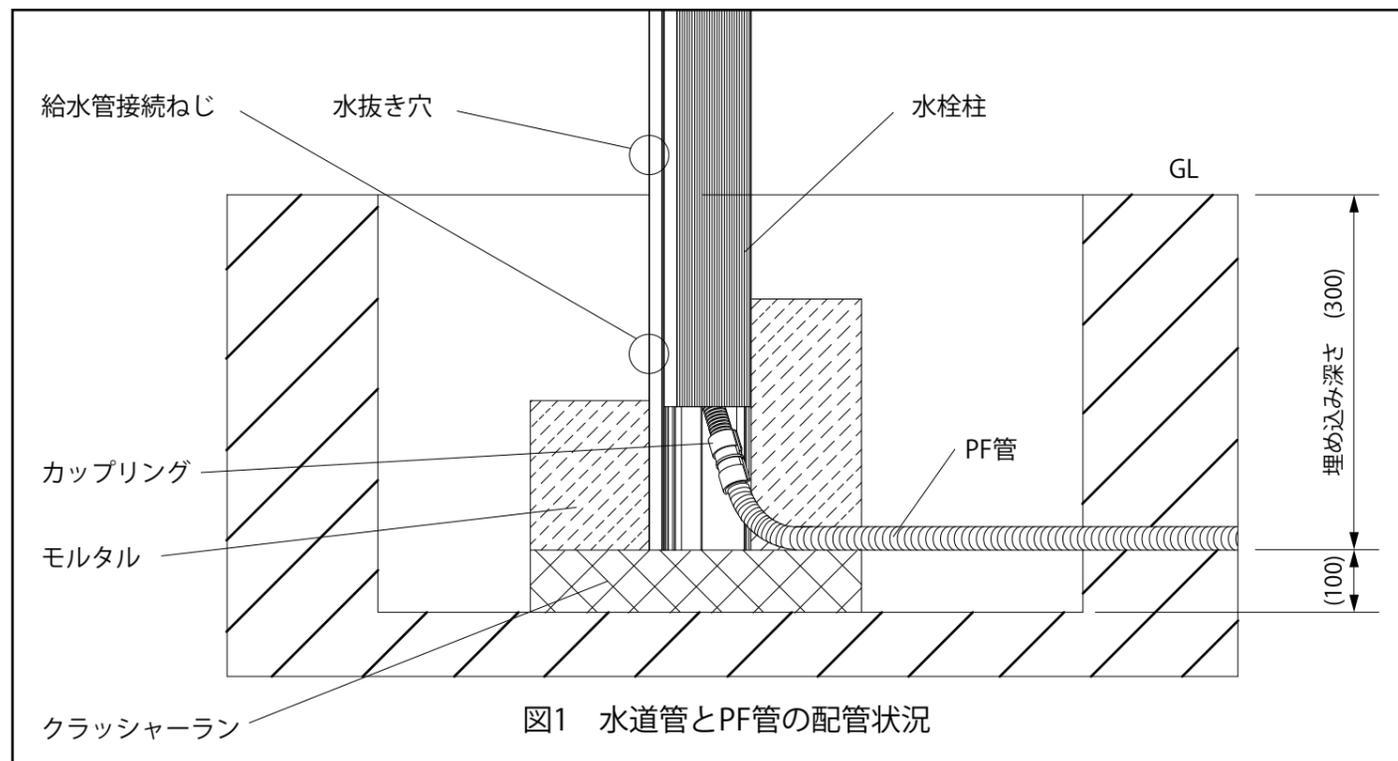
PF管(現場調達品)を適切な深さで地中配管し、水栓柱のカップリングを用いて接続する。

## ⑤PF管配管側のモルタルの打設

水栓柱の給水管接続ねじと水抜き穴を塞がないように注意しながらモルタルを打設する。

## ⑥センサーの取付け

付属のセンサーを反応範囲に注意し、安定した壁面に設置する。



## ⑦埋設穴の処理

埋設穴に誤って人が落ちないように適切な処理を施す。

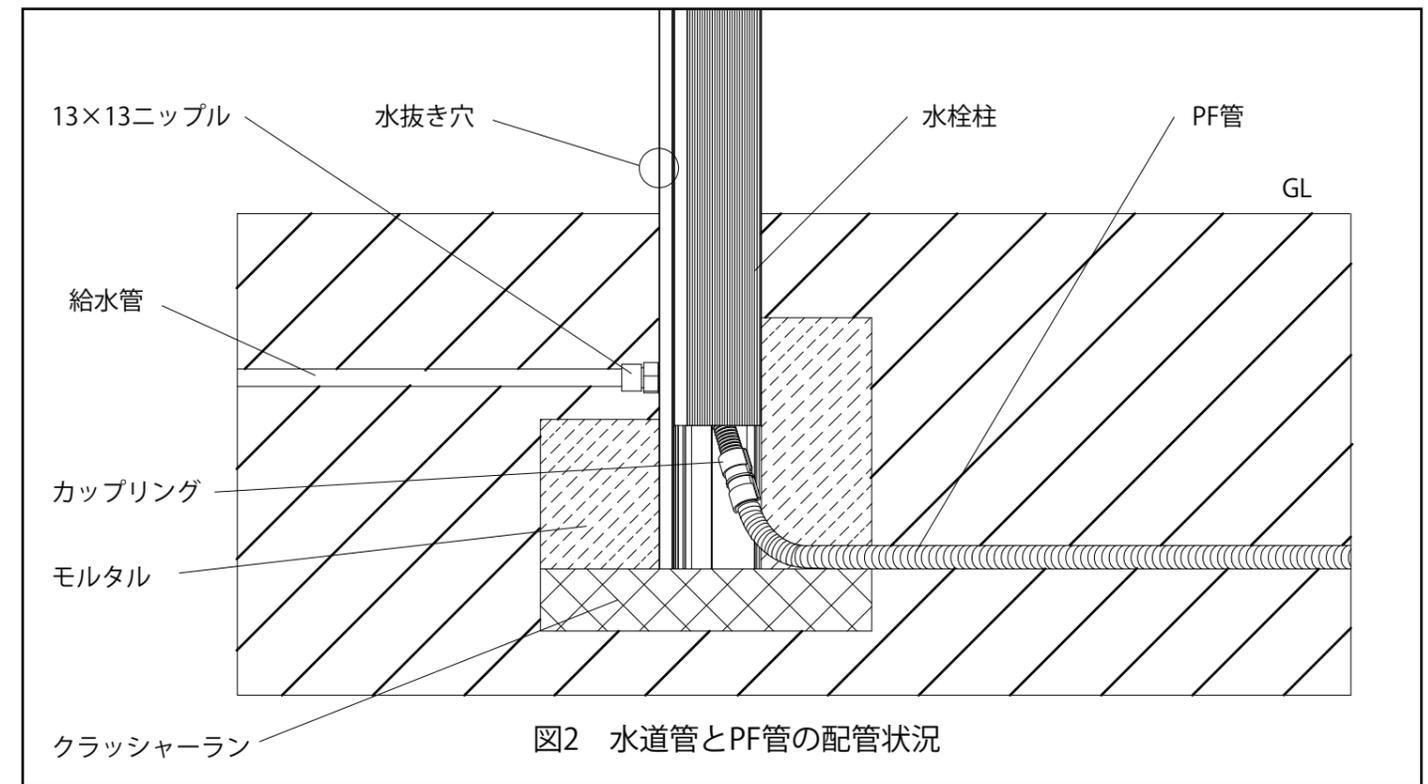
＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ **水道工事** ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝

## ⑧給水管の配管

給水管を適切な深さで地中配管し、水栓柱下部の給水管接続部に13×13ニップルを用いて接続する。

## ⑨埋戻し

水抜き穴を塞がないようにPF管及び水道管を埋込みライン(水栓柱最下部より300mm)まで水栓柱を埋戻す。(図2参照) ※コンクリート埋設の場合、コンクリートが乾くまで十分養生する。



## ⑩通水点検

蛇口の施工後に、水が流れるか、止水できているかどうかを点検する。  
このとき確実にフラッシングを行う。  
フラッシング：蛇口を全開し約30～60秒間勢いよく通水する。

フラッシングを行った後は、蛇口止水部のゴミをピンセット等で丁寧に取り除く。